



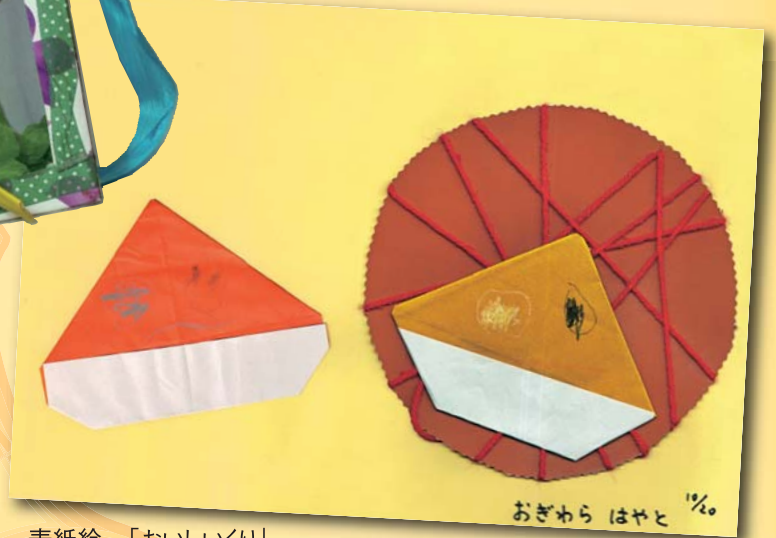
おうち

テーマ

「お手伝い」



表紙工作 「むしさんのおうち」
ふくだ えいと ちゃん(年中)



表紙絵 「おいしいくり」
おぎわら はやと ちゃん(年中)

「親子で楽しめるお手伝いをー!」

栃木県幼児教育センター長 大塚千枝子



を「存じ」でしょうか?

小さい子どもが、一生懸命考えながらお店まで行き、買いたいものをお店の人に伝えお金を払います。そして、帰り道、レジ袋に穴があいて落としてしまったり、ぐちゃぐちゃになってしまったり、いろいろなハプニングがあるのです。やっと家に着いた時、家の人に「えらかったね。ありがとう。」とほめられて、すばらしい笑顔を見せます。この時、本人はもちろん、まわりの皆が幸せな気持ちになっているのでしょう。

小学校には「生活科」という教科があります。ここでは、生活上必要な習慣や技能を身に付けさせ、自立への基礎を養います。一年生では、家族のことや自分でできることについて考え、役割を積極的に果たすことなどを学習します。幼児期の様々な経験が生かされ、さらに体験を積み重ねていきます。

お手伝いの効果として、「人の役に立つ経験をする」、「満足感や成就感を味わう」、「コミュニケーション能力を育てる」、「忍耐力を育てる」、「自立への基礎となる」などが考えられます。無理やりさせるのではなく、興味をもったことから始めるとより効果があるでしょう。つまり、子どもの成長にあわせた言葉かけや手助けをしながら、続けてできるお手伝いをさせることが大切なことだと思えます。もちろん遊んだものを片付けたり、脱いだ服を洗濯機に入れたりする些細なことでも立派なお手伝いです。

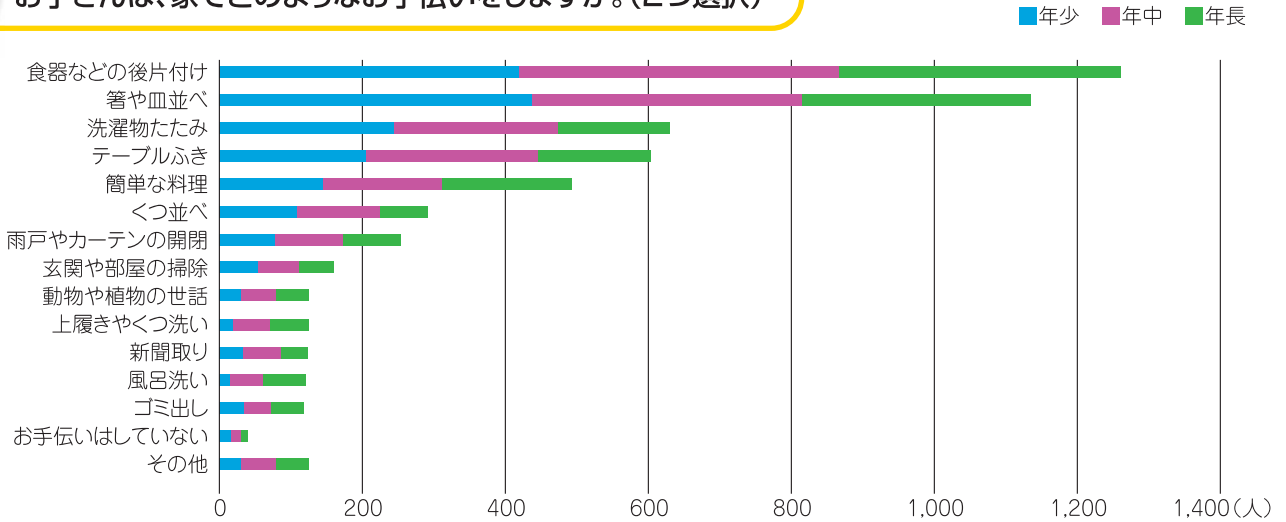
親子で、日々楽しみながら生活することが大切です。

特集

「お手伝い」

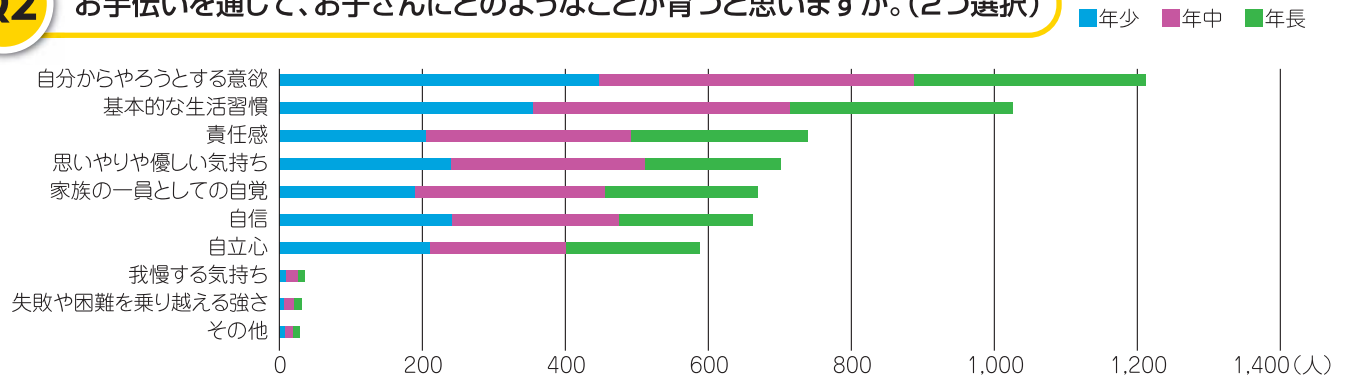
今回は、お手伝いについて、アンケートに答えていただきました。
(対象:県内の3~5歳の子をもつ保護者 回答数:3,408件)

Q1 お子さんは、家でどのようなお手伝いをしますか。(2つ選択)



○「食器などの後片付け」「箸や皿並べ」など、毎日欠かさずできるような、食事に関連したお手伝いが上位を占めています。
○ほとんどの項目について、年齢による大きな差がないことがわかります。

Q2 お手伝いを通して、お子さんにどのようなことが育つと思いますか。(2つ選択)



○「自分からやろうとする意欲」の回答が最も多いことから、保護者の方がお子さんの心情や気持ちを大切にしていることがうかがえます。

お手伝いについての自由意見

子どもがお手伝いをすることで、
親も一緒に成長するみたいだね！ピヨ！



お手伝いは、幼稚園や学校ではなく、家庭で基本的な生活習慣を身に付ける機会だと思う。

子どもがやりたがっても自分が忙しいとやらせないことが多くて反省。親に心の余裕がないとだめですね。

お米を研げるようになった娘が、「ママはいつもこうやって冷たいお水で洗ってたんだね。」と言ってくれた。ありがとう。

お手伝いをしたからえらい、何かごほうび！ではなく、生活の一部や家族の一員として考えて行動できる人になってほしい。

子どもがやるだけでなく、自分も一緒にやっている。とても楽しい時間になっている。

「包丁・火・水」など危険性を心配するよりも、体験することによって、「危ない」や「大丈夫」を理解するのだと思う。

失敗しても、「次はこうすればいいんだ」ということを学べる絶好のチャンスにしてあげたい。

なかなかお手伝いをしたがりがりませんが、自分のことが自分でできることも立派なお手伝いではないでしょうか。



カブトムシの世話は
ぼくたちの仕事!



お兄ちゃんの
真似しよう。



新聞を取って、
ちょっと寄り道…



さすが、
お姉ちゃん。



麦茶は、ぼくに
まかせてね。



手が冷たいけど
ママと一緒になら!



お手伝いしてるの?
遊んでるの?



お母さん
みたいでしょ〜。

笑いあり！涙あり！ お手伝い大作戦

~家族の一員としてのぼく・わたし~

お手伝いをきちんとやる子、最後までやらずに途中で投げ出してしまいう子、遊ぶことが忙しくてそれどころではない子など、子どもは十人十色です。「どうすれば、〇〇ちゃんみたいに進んでお手伝いをするようになるの?」と悩んでいる方も多いのでは。でも、子どもの様子をよく思い出してください。眠い目をこすりながらも自分で起きたり、時間はかかるけれど自分で着替えたり、いつも笑顔で話をして家族を楽しませたり…など、毎日の生活の中で当たり前になっていることも、実は立派なお手伝いです。そして、何よりも大切なことは、「できる」「できない」ではなく、「やろうとする」ことです。「自分でやったのね。お母さん、助かるよ。」「〇〇くんがいるから、家族みんなが楽しいよ。ありがとう。」と、結果が見えるお手伝いだけでなく、当たり前と思うことも含めて、子どものがんばる姿をたっぷりほめてあげてください。そうすることで、自己有能感を育み、家族の一員としての自覚が芽生えてくるのです。

子どもの気持ち
紹介しま〜す。

ママの気持ち 試してみても分かる お手伝い
(桑川 彩華さん 栃木県 小学1年生)

ごほうびは おもちゃかうより だっこして
(下岡 大和さん 広島県 小学1年生)

「楽しい子育て全国キャンペーン」~親子で話そう! 家族のきずな・我が家のルール~ 三行詩優秀作品より

子ども
読みたい一冊

「るすばん」
さとう わきこ作 福音館書店

買い物に行くお母さんに頼まれて、いやいやながらも留守番をする「あたし」。おりこうに留守番をするお手伝いのはずが…。

同じシリーズに「おつかい」もあります。

とちぎの幼・保・小連携 ⑨幼稚園・保育所等パワーアップセミナー

栃木県教育委員会では、幼稚園・保育所の園長・所長等の先生方を対象に「幼稚園・保育所等パワーアップセミナー」を実施しています。今年度は、県内各地から40名程の先生方が全4日間の日程に参加して下さっています。この研修の目的は、幼稚園や保育所が地域に開かれた幼児教育の中核的施設となり、家庭の教育力向上を図るものです。すでに、多くの幼稚園・保育所で、保護者による保育参加や子育て経験者などの地域人材を活用した取組、幼児教育の講演会など、様々な子育て支援に取り組んでいます。

今回は、昨年度、研修に参加していただいた育成館幼稚園(佐野市)の子育て支援の取組【年長児の保護者対象の「小学校入学を控えたママたちのための勉強会」2月実施】をご紹介します。企画・運営は園長先生ですが、当日の講師は、県安足教育事務所ふれあい学習課の社会教育主事です。各地区にある教育事務所のふれあい学習課の先生方とは、昨年度の「幼稚園・保育所等パワーアップセミナー」の中でネットワークを築いていただきました。早速、地域人材を活用しての実践です。

内容は、「子どもの思い・大人の役割」をテーマに、2人組で話し合ったり、役割演技をしたりしながら、子どもの立場になって、ほめられる嬉しさや傷つく言葉を体感しました。



左の写真は、保護者の方が子どもを傷つけてしまったという言葉の思い浮かべ、その言葉を言いながら、中央にいる子ども役の園長先生にひもを巻いているところです。「どうしてできないの?お姉ちゃんはできたのに…」何回言えば分かるの?早くしなさい。」等の言葉のひもであつと言う間に園長先生が…。言葉は消えてしまうけれど、子どもの心は見えないひもでがんじがらめになっていることが一目瞭然となりました。お子さんが、自信をもって1年生になれるような大人の関わりに気付いたことと思います。

就学を間近に控え、初めての小学校生活に不安を抱くのは、子どもだけではありません。「保護者もつなぐ幼・保・小連携」がこれからの連携のキーワードかもしれません。

自由意見で寄せられた声です 掲示板

「おうち」を読むたび、親になった喜びを感じます。子どもは本当におもしろい!

子どもが3人います。3人目にしてやっと余裕が出てきましたが、1人目のときは、ベテランママのアドバイスが欲しかったので、このような情報誌は、とても有効だと思います。

最近の悩みは、4月に1年生になる長女が言うことを聞かず、日々口うるさい自分も嫌で、悪循環に陥っていることです!

前号の県教育委員会が推進する「優しさ」「聴き」「遅しさ」を育む教育の「聡さ」とはどういうことですか?

おこたえします!

「聡さ」とは、基礎的・基本的な知識や技能とそれを利用して自ら学び自ら考える力、夢や目標に向かうねばり強さ、自他の立場を考えた正しい判断力〜中略〜など、生きる上での基礎となるものです。

「とちぎ教育振興ビジョン(三期計画)」より

※詳細は、県教育委員会のホームページをご覧ください。

★アンケートのお願い★ 次回テーマ 「子どもの生活」

「おうち」は皆さんの声で構成する情報誌です。ぜひ、ご協力ください。アンケートは幼稚園・保育所にお出しく下さい。直接、幼児教育センターへお出しいただくことも可能です。



家庭教育ホットライン(保護者専用)

(ひとりで) な や む な

TEL 028-665-7867

保護者の皆さん!お子さんの育児、子育て、しつけ等家庭教育のことや友達、いじめ等対人関係のことなどで困っていること、悩んでいることはありませんか?秘密は絶対に守ります!一人で悩まず気軽に御相談ください!

受付時間 午前8時30分~午後9時30分 毎日(日曜日を除く)

※上記時間以外と日曜日は留守番電話・FAX(電話番号と同じ)で対応しています。 栃木県教育委員会

とちぎテレビ番組「とちぎ教育新事情」のご案内

「おうち」第19号に関するテレビ番組を放映します。

日 時:平成23年12月18日(日) 10:05~10:25

再放送:平成23年12月19日(月) 12:00~12:20

「おうち」は、栃木県教育委員会の「幼児教育センター」が、幼児教育についての情報を提供するために発行しています。バックナンバーはホームページで読むことができます。(アドレスは下欄参照)

栃木県幼児教育センター

検索

幼児教育情報誌「おうち」 第19号 平成23年9月発行

発行者 栃木県幼児教育センター 〒320-0002 宇都宮市瓦谷町1070

TEL 028-665-7215 FAX 028-665-7216

URL: <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/> e-mail: yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp

